

Vol.0 パーソントリップ調査の概要

名古屋市では、昭和 46 年から 10 年毎に、国土交通省・愛知県・岐阜県・三重県と共同で、中京都市圏を対象としたパーソントリップ調査を実施しており、平成 23 年には第 5 回目の調査を実施しました。
 この調査データをもとに、名古屋市における交通実態の概要をとりまとめましたので、数回に分けて紹介していきたいと思ひます。まずは、パーソントリップ調査の概要についてご説明します。

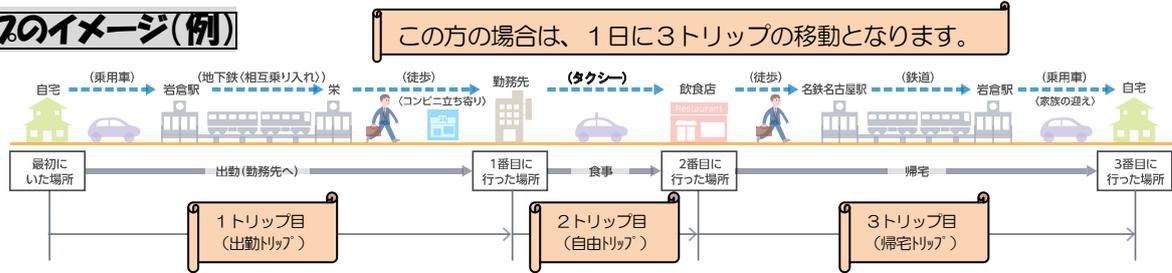
パーソントリップ調査とは

パーソントリップ調査（パーソン=人、トリップ=移動）とは、対象地域の居住者の「性・年齢」「職業」「居住地」などの個人属性とともに、「出発地・目的地」「移動目的」「移動時刻」「交通手段」などの移動特性を抽出調査し、それをもとに地域全体の全ての人の 1 日の移動量を捉える交通基礎調査です。
 この調査は、都市圏全体の人の移動について、様々な交通手段などの視点から総合的に把握することができる唯一の調査で、その結果は交通計画だけでなく、防災・環境など様々な分野にも活用されます。

トリップとは

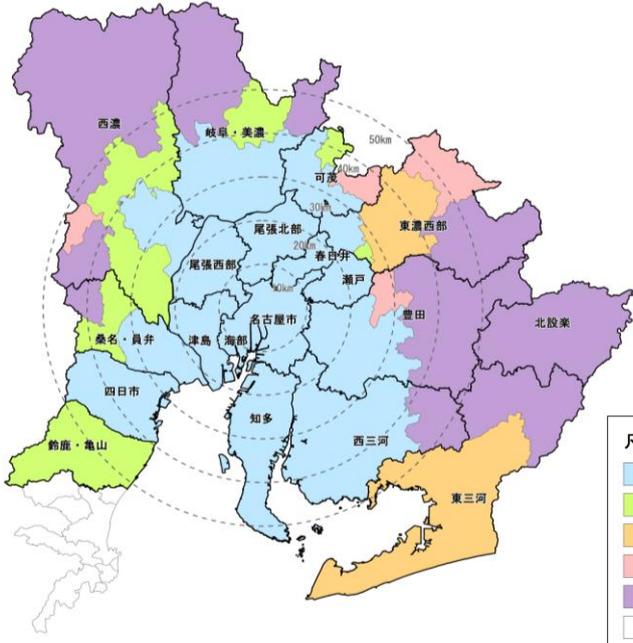
人がある目的をもって「ある地点」から「ある地点」に移動するときの動きを『トリップ』といいます。移動の目的は、大まかに「出勤」「登校」「自由」「業務」「帰宅」の 5 つに区分し、移動目的が変わる毎に別のトリップとして数えます。

トリップのイメージ(例)



調査の圏域

第 5 回調査では、中京都市圏の 3 県（愛知県・岐阜県南部・三重県北部）を対象圏域としています。



【第 5 回調査の規模】

| | | |
|-----------|-----------------------|----------------------------|
| 対象市町村数 | 中京都市圏 | 58 市 36 町 2 村 |
| | 愛知県全域 | 37 市 15 町 2 村 (名古屋市を含む) |
| | 岐阜県南部 | 16 市 16 町 |
| | 三重県北部 | 5 市 5 町 |
| 対象面積 | 10,463km ² | |
| 総人口(*) | 9,999 千人 | |
| 5歳以上人口(*) | 9,485 千人 | |
| 総世帯数 | 3,912 千世帯 | |

((*) H23.10 月現在)

凡例

- 第 1 回 (S 4 6) 調査圏域
- 第 2 回 (S 5 6) 調査で新たに加わった圏域
- 第 3 回 (H 3) 調査で新たに加わった圏域
- 第 4 回 (H 1 3) 調査で新たに加わった圏域
- 第 5 回 (H 2 3) 調査で新たに加わった圏域
- 第 2 回 (S 5 6) 調査のみで実施した圏域

※鈴鹿・亀山地域は第 3 回調査圏域には含まれていない

調査の対象者

第 5 回調査では、中京都市圏内の居住者から無作為抽出した約 45 万世帯の構成員（5 歳以上）の全員を対象とし、約 14 万世帯（約 31 万人）から調査票（回答）を返送して頂きました。
 なお、第 5 回調査では、愛知県内（名古屋市含む）居住者を対象に休日調査も実施しています。

パーソントリップ調査についてもっと詳しく知りたい方は、以下の HP をご覧ください。
 中京都市圏総合都市交通計画協議会：<http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/chukyo-pt/index.html>